

KDKグループ 教科別の指導「国語・算数」学習指導案

授業者: 矢花 俊樹 & 竹澤 亜紀 & 高橋 凜斗

KDKの目指すところ

特別支援学級の児童は、特性に応じた個別の支援や配慮を必要としています。小グループで関わり合いながら学ぶことで、自己肯定感を高め、主体的な学び、遊び、コミュニケーションが取れる児童の育成を目指しています。

1. 単元名 **国語**「クイズ 説明しよう！」 **算数**「足し算神経衰弱」をしよう！

【授業について】

国語: 身近なものについて分かりやすく説明したり、大事なことを落とさずに聞いたりする能力を身に付け、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

算数: 加法及び減法の計算の仕方や、10の合成・分解を理解する。

自立活動: 友達と関わりながら楽しく学習する。

【児童の実態と教師の願い】

自信がなく、活動が受動的な児童が多い。
→一人一人が主役になる場面を設定する。
(自己選択、集団での個の活動) → **主体性へ**

人と関わるのが苦手な児童が多い。
→友達と関わり合いながら学習する場面を設定する。(話し合い、教え合い) → **主体性へ**

Point! 授業のここ見て!

ASD、ADHD、知的障害の児童が関わり合いながら生き生きと学ぶ、インタラクティブな展開!

2. 本時の活動

時間	○児童の活動	・主体性を引き出すための手立て	活動の様子
導入 2分	○本時の活動を知る。		
展開 1 20分	<p>「クイズ 説明しよう」を行いましょ。</p> <p>○グループに分かれ、自分が説明する画像を選ぶ。</p> <p>○説明の内容をグループで相談する。 ○「クイズ説明しよう」を行う。</p>	<p>・自分が説明する画像を自己選択させる。</p> <p>・説明の内容を教え合う。</p> <p>・一人一人が集団活動の中で主役になる。</p>	 <p>◆「何て説明すればいいのかな？」</p>
展開 2 20分	<p>「足し算神経衰弱」を行いましょ。</p> <p>○トランプを並べる。</p> <p>○順番を決める。</p> <p>○ルールを確認する。 ○「足し算神経衰弱」を行う。</p>	<p>・順番を話し合って決める。</p> <p>・ルールを考えさせ、発言させる。</p> <p>・一人一人が集団活動の中で主役になる。</p>	 <p>◆「次に、3が出れば取れるよ！」</p>
終末 3分	○学習後の感想を発表する。	・学習を振り返らせ、発言させる。	